

あとがき

本年度2冊目のVol. 10 No. 2(22号)をお届けします。

昨年は西日本の広範な地域の透析医療機関が渇水対策に追われましたが、今年は年明け早々、神戸を中心とした大震災により、多くの透析医療機関が甚大な被害を受けました。被災地域の会員の方々には、申し上げるべきお見舞いの適切な言葉すら思い当たりません。当面、支援の継続は当然として、災害時救急透析医療委員会は、会員諸兄の英知を結集して現実的で有効な災害時対策の策定に努力すると聞いております。

渇水対策に関して有意義なお話をいただいた南松山病院院長尾崎光泰先生、大震災の状況についてご寄稿いただいた秋葉隆先生はじめ、災害時救急透析医療委員会の諸兄に感謝申し上げます。

なお、諸般の事情により、シンポジウム——抗血液凝固薬の使い分けと適正用法——は、次号に掲載する予定です。

(広報委員長 奥田健二)